

無神論者諸君、無神論は自己破壊の道だ、いい加減に目を 覚ませ

「科学と文化センター」John West からの私信

Discovery Institute
November 16, 2022

親愛なる H、

あなたは、Intelligent Design を受け入れる人々にとって、何が一番大きな障害になっているかを知っているだろうか？

それは、そもそも、その証拠に耳を傾けないことである。

人々の心や精神は、彼らが現実を知ったとき変わる——それは彼らが、自然界は生命のために、絶妙に微調整されていること、我々の遺伝子の内部に存在する情報コード、また我々の細胞の中で働いている、驚くべき分子機械について、知ったときである。

不幸なことに、メディアやビッグ・テックは、くりかえし、科学に異議を唱えることを妨げている。彼らはまた、科学に基づいていることになっているが、そうではない、あらゆる主張を、広く宣伝している。彼らは、科学は神が存在しないことを証明した、と主張する物語を広めている。彼らは、ダーウィン進化論について、科学者の間に「論争は存在しない」と主張している。COVID（コロナ）の時代には、彼らは、科学の名において主張された、公共政策に反対する者を、たえず検閲している。彼らは科学の名において、他者の脱人間化を推進さえしている

私のように、あなたも時々、公共の議論のこのような操作に反論しながら、無力感を覚えているかもしれない。しかし**実は、あなたや私は無力ではない**。その過程で他者に希望を与え、これを押し返すことのできる強力な方法が、我々にはある。

それは *Evolution News and Science Today* と呼ばれている。

ディスカバリー研究所は、このオンライン・ニュースを、遙か 2004 年にスタートさせ、進化とインテリジェント・デザインをめぐる討論についての、正確な情報のメディア検閲に、

反対している。それ以来、その英語バージョンの聴衆は、数千から、年間 120 万以上のユーザーへと成長した。我々は今、世界中の聴衆を獲得し、我々のスペイン語版を読む、別の 6 万人の読者がいる。

我々の読者層は、あらゆる著名な専門学者からの報告や分析を得ている——生化学者マイケル・ビーヒー、遺伝学者マイケル・デントン、哲学者スティーブ・マイヤー、地質学者ケイシー・ラスキン、天文学者ギエルモ・ゴンザレス、生物学者ジョナサン・ウェルズやエミリー・リーヴズ、古生物学者ギュンター・ベックリー、歴史学者リチャード・ワイカー、その他多数。

我々は検閲に反対するが、それは不平を言うことによってでなく、積極的な代替案を提示することによってである。

Evolution News and Science Today は、進化とインテリジェント・デザインに関する科学的討論に焦点を当てるが、それはまた、生命倫理、信仰と科学の関係、科学の名においての検閲や強制、その他をも扱っている。

独立ジャーナリズムにはカネがかかる。そこで我々は、論文編集、フリーランス・ライターへの依頼、ある検索エンジンによる、我々のストーリーへの禁圧に対抗するための、広告スポンサー依頼に、資金を必要とする。

もし、あなたや他の読者が、たった年間 100 ドルのご寄付によって *Evolution News and Science Today* を支持してくださるなら、我々は協力して 2023 年には、正確な情報と希望を、100 万人以上の人々に提供することができます。

言論の自由は、もし反対意見を聞いてもらえる言論の場がなければ、あまり意味がありません。Mike Behe、Steve Meyer、Casey Luskin、その他、多くの人々が、2023 年に真理を発言することができるように、言論の場を提供していただけないでしょうか？ どうかお願いします。

John G. West, PhD
Managing Director
Center for Science & Culture
Discovery Institute

P.S. いかに何でも **Evolution News** を支援してくださる方への、特別の感謝として、私たちは、COVID 時代の「**全体主義科学の出現**」(*The Rise of Totalitarian Science*) について私が書いた、26 ページのデジタル報告を無料でお送りします。

Discovery Institute
Center for Science and Culture
208 Columbia St.
Seattle, WA 98104

phone: 206-292-0401 | fax: 206-682-5320
website: www.discovery.org/id
Facebook: www.facebook.com/discoverycsc
Twitter: twitter.com/discoverycsc

Copyright © 2022,
All rights reserved.

[訳者 Greatchain 注]

日本の新聞・テレビ、あるいは教育関係の人々で、インテリジェント・デザインを暗に妨害しようとしている方々をお願いしたい。どうかこれを読んで、述べられた趣旨を理解していただき、ID 論者の妨害だけはしないでいただきたい。訳者の私が長いこと、ID を紹介しながらわかったことは、彼らは相手の主張を全く聞こうとせず、何ものか陰の——しかし今は「陰」ではなくなった——勢力の指令を受けて、必死に ID を窒息させようとしていることで、それが今でも続いている。これは**人間**として、あまりにも情けない話ではないか？

これは学者同士の、意地の張り合いのようなものではない。それなら問題はほとんどない。これは、真剣に生きている人間の魂の問題、いかに生きるかという倫理の問題である。無神論や唯物論は、かつて論じられたような、単に神は存在しないというような純粹理論の問題ではない。ジョン・ウエストがここで、何度も「科学の名において」と言っているように、それは「科学」によって容易に乗っ取られ、恐ろしい結果をもたらし得るものである。彼は「全体主義科学」と言っている。かつては「共産主義は科学である」などと言って人をたぶらかした。それが何と、今も生きている。「ダーウィン進化論」も同じで、すべての生物を外形の変化で説明できるかのように教え、偽って、人間を究極的に魂抜き、ゾンビのように扱うことを狙うものである。

もしこれを嗤って疑う人があれば、「科学」の帝王を自称するアンソニー・ファウチ博士を見ればよい。ファウチは今でも、免疫や疫病の権威として、我々の生殺与奪の権を握

っているではないか？ 我々の政府も、これだけ盛んにワクチンの有害効果が証明されているのに、ファウチの「科学」に盾突くことができないでいる。

ジョン・ウエストの説明は簡単だが、これによって今世界で起こっている、おそろべき欺瞞と悪意と混乱のすべてが理解できる。世界のすべてが一つに繋がっている。アメリカの中間選挙も、ウクライナもロシアも、日本の政治も全部がつながって、一つの悪に収斂する。